

令和2年度

小栗栖だより 1月 学校評価より

令和2年10月14日

京都市立小栗栖小学校
校長 山田 俊夫

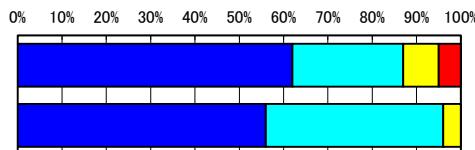
ご家庭や地域の皆様からいただいたお声に、子どもたちのアンケート調査を加えて、考察をし、これから的小栗栖教育の参考にさせていただきたいと考えています。今後とも小栗栖教育にご協力とご支援をよろしくお願ひいたします。

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

①楽しい学校

児童 学校生活は 楽しい

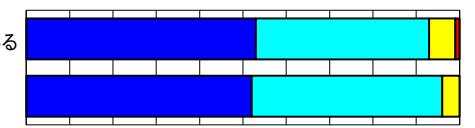
保護者 子どもは 毎日楽しく学校に 通っている



②友だち

児童 友だちと 協力して なかよくしている

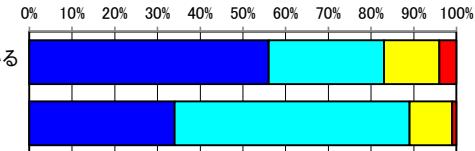
保護者 子どもは 友だちと仲良く 過ごしている



③チャレンジ

児童 いろいろなことに ちょうどせんしている

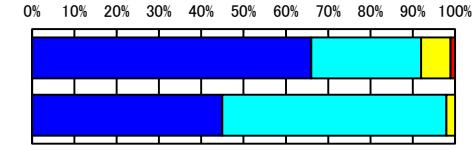
保護者 子どもは いろいろなことに挑戦し 意欲的に活動している



④一人一人を大切に

児童 先生は あなたのことを 大切に してくれている

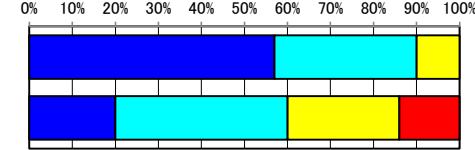
保護者 学校は 子ども一人一人を大切に した教育活動を 行っている



⑤ものを大切に

児童 自分の物やみんなの物を 大切に使っている

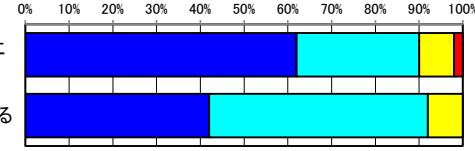
保護者 子どもは 物を大切に使っている



⑥相談

児童 先生は こまつたときに そだんに のってくれる

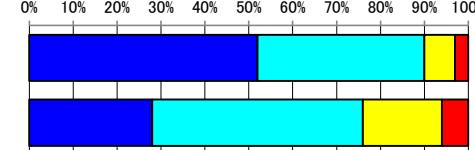
保護者 学校は 子どもや保護者の思いを 受け止め 相談に応じようとしている



⑦学力向上

児童 じゅぎょうで 学習したことが わかっている

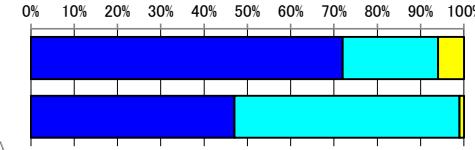
保護者 子どもは 学習内容を 理解している



⑧授業研究

児童 先生は わかりやすく いねいに教えてくれる

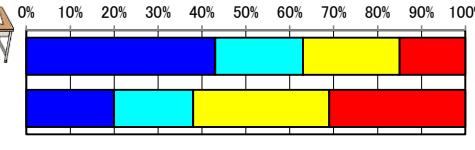
保護者 先生は 子どもにわかりやすい 授業を進めている



⑨読書

児童 自分からすすんで 本を 読んでいる

保護者 子どもは すすんで読書をしている



よかつたところ（成果）

① 楽しい学校

② 友だち

③ チャレンジ

④ 一人一人を大切に

⑥ 相談

⑧ 授業研究

⑪ 家庭学習

⑯ 環境整備

①では児童・保護者ともに80%を越えており、②も児童・保護者ともに90%を越え、子ども達は学校に来て友だちと過ごすことに楽しさを感じていることがわかります。

③は昨年度は70%台だったのに対し今年度は80%を越えていました。何事にも意欲的に取り組もうとする意識が上がってきています。

④の結果から、教職員が児童一人ひとりの関わりを大切にしていることがわかります。それに併せて⑥も児童・保護者とも90%を越えており、教職員が一人ひとりの声を聞くことを大切にすることで、児童も保護者の方も安心して担任に相談できるということから、相互に良い関係性が見て取れます。

一人ひとりを大切にすることは授業の中にも表れており、⑧の項目では、児童・保護者ともに90%以上で、保護者については100%に近い結果になりました。一人ももれなく「できる」「わかる」が実感できる授業づくりを意識し、一人ひとりに焦点をあて、丁寧に授業を進めてきた成果が表れたのではないかと思います。

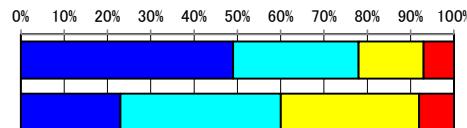
⑪では児童・保護者ともに80%を越えており、各家庭で保護者の方が子ども達の取り組みをよく見てくださっていることがわかります。

全体的に昨年より数値が良くなっているので、引き続き継続して取り組んでいきたいと思います。

⑩聞くこと・話すこと

児童 授業中、話をしっかりと聞き、考へて自分の意見を言えている

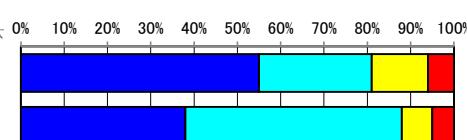
保護者 子どもは、話をしっかりと聞き、自分の意見を発表している



⑪家庭学習

児童 家で宿題など学習をしている

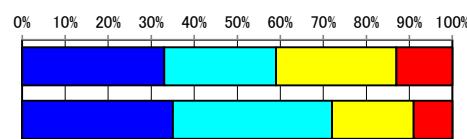
保護者 子どもは、家で宿題など学習をしている



⑫生活習慣

児童 早ね・早起き・朝ごはんなどきそく正しい生活をしている

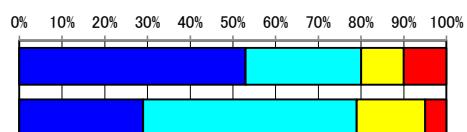
保護者 子どもは、早寝・早起き・朝ご飯など規則正しい生活をしている



⑬あいさつ

児童 元気よくあいさつをしている

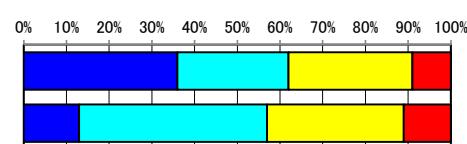
保護者 子どもは、元気よくあいさつをしている



⑭言葉づかい

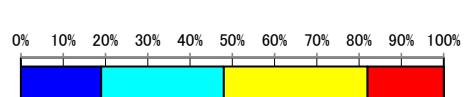
児童 ていねいな言葉づかいで話している

保護者 子どもは、ていねいな言葉づかいで話している



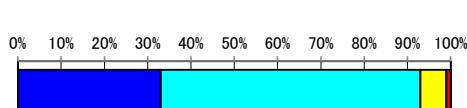
⑮行事への参加

保護者 子どもは、PTA行事・地域行事に参加している



⑯環境整備

保護者 学校は、教育的な環境がきちんと整備されている



今後の課題

⑤ものを大切に使うこと ⑨読書

⑩聞くこと・話すこと ⑭言葉づかい

⑤は児童と保護者の間に意識の「開き」が見られます。子ども達は比較的「もの」を大切に使うことができている感じているようですが、保護者の方からするとまだまだといったところでしょうか。

「もの」を大切にすることで、自分も周りの人も 大切にすることができます。家庭とも連携して声かけを継続していきます。

⑨では読書への関心が、依然として低いようです。文章を読みとる力（読解力）を育てることで、相手の思いや考えを理解することができるようになります。また、読書を通して様々な価値観を得たり、自分の考えや視野を広げられたりします。意図的に、本を手に取る機会を増やし、読書への抵抗をなくしていきたいと思います。

⑩を見ると話の聞く力がきちんと身についていると、相手が何を思っているのか、考えているのかを理解することができます。また、相手の意図を理解できることで、自分の思いや考えを正確に伝えることができ、よりよいコミュニケーションをとることができます。「聞く・話す」能力の育成を目指していきます。

⑭では、「～です」「～ます」のように、ていねいな言葉づかいが習慣となるように、働きかけを続けていきます。

◇学校アンケート（保護者対象）「自由記述欄」具体的なご意見について

☆いつもありがとうございます。とても楽しんでいます。

☆竹馬や一輪車も大切な体幹のもととなると思うので、もっと機会を増やしてもらえたうう思います。

☆例年通りにはならないですが、色々と対策をしてくださりながら、学校生活が送られていることを

感謝しています。大変な中ですが、いつもありがとうございます。

☆朝登校した時、府営門でぐずってなかなか行ってくれなかった時に、校長先生はすぐに担任の先生を呼んでいただき、担任の先生も子どもを上手に説得していただき、とても早い対応と親身さに驚きました。ありがとうございました。



◇学校運営協議会の理事や企画推進委員をお願いしています方々にもご意見をいただきました。

☆朝、登校の時にあいさつをする子は特に低学年はよく声を出してくれるのでうれしいが、高学年はあまりしてくれない。

☆下校時、道で会ったら「見守り隊のおっちゃん」と声を掛けてくれる子がいるので、うれしく思っています。

☆親が子供にあいさつの仕方をもう少し教えてほしいと思います。学校でも対応を考えてほしいです。

☆ゴミ拾いのボランティアを学校の周辺でやっています。特に朝、見守り隊に行く時に登校・下校の所を特に気を付けて見ています。

☆たまに遅れて登校している子どもを見ると「どうしたのかな？」と気になります。



といったご意見をいただきました。教職員一同、今後もより研鑽を積み、子どもたちの学力向上に結びつく授業や一人一人を大切にした学級経営・学校経営に努め、様々な課題に取り組んでいきたいと思います。

R2前期

①楽しい学校

62	25	8	5
56	40	4	0

②友だち

53	40	6	1
52	44	4	0

③チャレンジ

56	27	13	4
34	55	10	1

④一人一人を大切に

66	26	7	1
45	53	2	0

⑤ものを大切に

57	33	10	0
20	40	26	14

⑥相談

62	28	8	2
42	50	8	0

⑦学力向上

52	38	7	3
28	48	18	6

⑧授業研究

72	22	6	0
47	52	1	0

⑨読書

43	20	22	15
20	18	31	31

⑩聞くこと・話すこと

49	29	15	7
23	37	32	8

⑪家庭学習

55	26	13	6
38	50	7	5

⑫生活習慣

33	26	28	13
35	37	19	9

⑬あいさつ

53	27	10	10
29	50	16	5

⑭言葉づかい

36	26	29	9
13	44	32	11

⑮行事への参加

19	29	34	18
----	----	----	----

⑯環境整備

33	60	6	1
----	----	---	---

